特116
547

文化

講演撰集

BUNKA KOENSENSHU

2586.3.29

講演文學會發行

日本の庭園に就て

大阪市技師公園課長
椎原兵市氏講演

（非賣品）

始

特116
547

日本の庭園に就て

大阪市技師公園課長
椎原兵市氏講演

於　天王寺第三小學校國史會

梗概

（庭園作造の上にも又庭園鑑賞の上にも是非一讀せられよ）

本講演は庭園學の權威たる椎原大阪市公園課長が日本の風土人情建築宗教等の影響より來れる日本庭園の發達を說き更らに之れを洋風の庭園と比較し最後に京都及東京の名園に就て詳述せられたるものにて庭園作造の上にも又庭園鑑賞の上にも是非一讀すべき最も有益なるものである

先づ最初、日本庭園とはどんなものかといふことをお話申上げます、庭園と申しますと一つの土地の上に、或る時は建築物の附屬となり、或る時は建築物を附屬させて、その上に自然的の材料、樹木とか或は苔とかいふやうなものを置いて一つの風景を作つたり、それから又島とか橋とかを設けたり或は手水鉢とか燈籠などの飾りをこしらへまして、一つの美しい裝飾的にした構造物であります、そして庭園には二通りありまして、その眺めを味あう風景的なものと、實用的なものとの二通りがあります。風景を眺め味あうところのものが日本庭園でありまして、西洋庭園は風景を味あうその上に實用的になつてをります、そこに日本庭園と西洋庭園との區別があります。

大正
15. 6. 4
内交

すべて庭園を見まするにはやはり色々な修養が必要でありまして、その對象物について感動する能力といふものは、その修養が十分出來てゐるか、どうかによつて、その程度が違ふのであります。かの京都の天龍寺の庭園は夢窓國師の作つたものであります。あれが出來た當時は、その名園たるの價値を一般に知らなかつたのであります。ところが利久がたま／＼天龍寺の庭に遊んで、その庭を眺めた時、その遠景に渡月橋や嵐山を取り入れてあるのをみて非常に感心し、名園だと譽めましたのでそれからこの天龍寺の庭が名園だといふことを一般の人が知るやうになつたといふやうなこともあります。それは即ち庭園外のものを借景として取り入れ、庭園の中と庭園の外とのものがうまく和合し調和してゐるところを普通の人は氣がつかなかつたのであります。利久はこれをみてから庭園はどうしても自由なものでなければならぬといふことを考へまして、眞草行の樣式の中、草について一つの派をなしたのであります。又庭園は地理とか氣候とか材料とかの自然的環境と人種、風俗、習慣、宗教などの人爲的環境とによつて作られるものでありますから、庭園それ／＼の特質がやはりそういふところにあるのであります。

これから日本庭園の特質についてお話いたします。仝じ日本庭園と申しましても、その樣式は色々異なつてをりまして、例へば築山があつたり、島があつたり、その構造に眞とか、行とか、草とかいふ區別などがあります。さういふ樣式をあげますと、いろ／＼な種類がありますけれども、すべての日本庭園に通ずる特質は何であるかと申しますと、第一は日本庭園は自然の風光の縮圖なりといふこ

とであります。それから日本庭園には淸楚をたつとぶといふことゝ、それから日本庭園には想化が行はれるといふことゝ、日本庭園には禁忌、方位翹在の說が加へられてゐるといふこの四ツが日本庭園を通じての特質があります。

これ等の特質について今少しく說明を加へますと、ヨーロッパの庭園でも古い庭には日本のやうに自然の風光を取り入れたものがありまして、西洋と東洋との交通が頻繁となつてから日本風、支那風の樣式が英國に傳はり、それがフランス、ドイツに傳はつて、支那風日本風の庭園があちらにも出來てをりますけれども、仝じ自然風であるとは言へ、やはり兩者の間には相違があります。向ふの自然風の庭園は自然そのまゝを寫した、現實に現はしたものでありますが、日本のは少し違ひまして、自然の風光を縮圖したものであります。例へば東京の後樂園の如き東海道五十三次の大きな景色を小さな庭の中に寫したものでありますから、勢ひ自然の縮圖とならざるを得ないのであります。そして庭の模樣を小さくすれば自然そこに想化といふことが行はれます。この縮寫的庭園が日本に何故發達したかと申しますと、第一日本の風光は狹ひ島國でありまして、多數の山脈、山岳が重なつてをつて、その間に芦の湖や中善寺湖の如き美しい湖があつたり、木曾川の如き激流があつたり、所謂山紫水明の美をもつてをりますから、それ等のものを寫すといふことになり、それ等のものを庭園の中に寫すには、そのまゝ寫すことが出來ないから自然そこに縮圖するといふことになつたものであります。それから日本の家屋は一般に規模が小さくありまして、神社佛閣とか邸宅などにも相當大きいものがあ

りますが、それとて小さいものが集つて比較的大きいものになつてゐるのであります。これは何故小さい建造物になつたかと申しますと、日本の建築は殆んど木材ばかりから出來てをつて、木材は高層な建築を造るに不適當でありますから、自然小さい建物になつたのであります。尙それに日本では昔高層な建物を造ることが禁せられてをりまして、從來の家屋は多く平屋建てであります。それでありますから規模の小さい平家建ての家に調和する庭としては、やはり規模の小さいものとならねばならなくなります。然るに西洋の庭になりますと、建て物が非常に大きく二階、三階から、或はバルコニーから遠方迄眺めるやうになつてをりますから、その大きな建て物に釣り合ふやう大きなものにならざるを得ないのであります、そこで自然の風光を取り入れにしても、自然そのまゝの雄大なものになるのであります。次ぎに日本人は家の中に坐つてをりまり關係上、眼界が狹くなります、狹い眼界の中に自然の風光を澤山取り入れるには縮圖的にするより外はないのであります。それからもう一ッの原因は日本には私園が發達して公園が發達しなかつたことであります。我國では多數の人が集つて相樂しむといふ風習があまり行はれなかつた、すべてが家族的でありまして小さい庭を設けて一人で樂しむといふ樣なふうでありましたから、大規模の公園が發達せず、小規模の私園が發達したものであります。これ等の原因によつて日本の庭園は自然風光の縮圖になつたのであります。それから日本庭園の作り方に及ぼしたいろ〳〵な影響を申しますると、西洋の庭園はいろ〳〵な色の配合上、濃厚な色彩を有

してをります。ところが日本のものは誠に清楚なものであります。近頃は西洋趣味が加つて幾分派手な明るい庭もございますが、古い庭になると皆清楚をたつとんだのであります。この清楚をたつとぶといふ氣風は、獨り庭園のみならず繪畫美術工藝品などすべてのものに現はれてをりまして、わが國民生活のいろ〳〵な方面に現らはれてをります、この氣風は一朝一夕に出來上つたものでなく、永い歷史をもつてゐるものであります。今その原因となるやうなものを擧げまするど、日本民族が清淨潔白を愛するといふのは、日本人の趣味であり、又日本の氣候や、木造家屋に對する色彩の關係上でありまして、清淨潔白を愛するのは日本一般の氣風でありまして、正義といふことなどはそれが精神の上に現はれたものであらうと思ひます。又葬儀や祭式に清淨潔白を旨とするのはそれが風俗習慣の上に現はれたものであらうと思ひます。したがつて庭園の如きもその趣きが幽邃とか閑雅とかをたつとぶやうになつたものと思はれます。だから我國の庭園では華美な色彩を好まず、濃い綠に薄い綠、又は青と綠といふやうな同色類似の色が多く用ひられてをります。全じ赤を使つても眞赤ではなく、紅葉のやうな少し濁つた褪色のやうな澁いものが使はれてをります。それは幽邃閑雅な茶庭に綺麗な花壇を設けても、うつらないと全じく、西洋建築に石燈龍や手水鉢を用ひてもうつりませんやうに、我國の幽邃閑雅な茶庭と歐米の莊麗華美な庭園とどれ丈けの差があるかといふことは日本人の氣質から十分伺はれることであります。

次ぎに氣候の關係でありますが、氣候の狀態が庭園に影響を及ぼしてゐることも凝ひない事實であ

ります。英國人は日本の庭園に幽邃とか靜寂とかいふやうな趣きをたつとぶのは全く日本の氣候がこれを誘致してゐるといつてをります。日本の夏の温度はヨーロッパ諸國と比べると、かなり凌ぎ難いために日常生活は淡白を旨とするやうになり、家屋も西洋家屋より夏涼しいやうに出來てゐるやうに思ひます。次ぎに禪學が影響したことでありますが、日本の庭園の趣きを益々清楚ならしめたものに佛教、特に禪宗の影響があると思ひます。禪宗は北條氏時代に我國に傳はり足利時代に旺になつたものでありますが、その教義が日本國民の思想に強い感動を與へ、日本人の心境が禪宗に合致したものであらうと思ひますが、この影響は文學や宗教にも大きな變化を來したでありませう、建築や繪畫、彫刻その他美術工藝品にも影響を及ぼしてをりますが、特に我國の茶道に大きな影響を與へてをりまして、武士の間に非常な流行を來し、禪味が次第にこれ等の人の心深く食ひ込んで行つたものと思ひます。かの一世の英傑豊公が天正十年山崎の合戰で茶の湯三昧にふけつたといふことを考へても、その時代の人が如何に茶の湯を好んだことが想像されます。今日現存してゐる名園の多くは夢窓國師、相阿彌、小堀遠州といふ三人の作でありますが、これ等の人々は皆禪僧や茶の宗匠であります。したがつて庭園の上に禪の影響が及んだといふことも十分想像されることであります。そしてその禪の影響が庭園の上に清楚の趣きを與へたものだと思はれます。一体佛教は熱帶地方に起つたものでありますから、清楚は佛教徒の旨とするところであります。ある人は西洋の文明は暖をとり、東洋の哲學は涼を求めると申しましたが、全くそんなものであらうと思ひます。又禪に「心頭を滅却すれば火も又涼

し」といふことがあります。これはよく參禪して行を求めるの義であらうとおもひますが、禪の感化が庭園にも影響して清楚の趣きを加へたといふことが、十分考へられるのであります。次ぎに家屋の構造と色彩の關係でありますが、我國の庭園がその趣きを益々清楚ならしめたものに、家屋の色彩の關係を見のがしてはなりません。西洋の家は莊麗な色彩が多く、特に別莊になりますと日本人の目から見れば、雅趣も風致もないやうなものがありますが、かやうな派手な色彩をもつ家屋には庭園も又派手でなければなりません。然るに我國の家屋は白木造りでありまして、華麗な色彩を施したものは殆んどありません　白木造りであつても二三年經つと灰色か調色になります。さういふ色に調和するには、どうしても庭園が清楚でなければなりません。次ぎに日本庭園に想化が行はれることでありますが、日本の庭園のは自然の風光をそのまゝ寫したものでなく、想をもつてするといふことが、西洋の庭園と最も異なる特長であります。これを庭木について考へますと、日本の庭木は一種特別の立て方があります。英國風の庭園などに栽培する樹木はその木が發育のまゝにまかしてをりますが、日本の庭木は枝を矯めたり、縮めたり、或は樹木を刈りこんで鳥の形とか、冠の形とか、船の形とかにすることが行はれます。特に松等枝矯め形を縮めることが流行しましたが、これは小さい木を如何にも大木のやに見せるためであります。これは即ち小さい庭園を大きな自然のやうに思はせるためであります。例へば圓錐形に刈りこんだ扁柏等はそれを扁柏として用ひたのでなく、それを杉等の圓錐形の大きな樹木と考へさせるためであります。又躑躅など丸く刈り込みますが、これは濶葉樹が丸く見え

る、それをみせるためであります。それから日本庭園には石燈籠を盛んに用ひますが、それは夜間点火して、庭園の美をそえるといふ目的もありますが、石燈籠を据える位置から考へますと、田舎家を現はす意味で立てるものゝやうに思はれます。それから京都の龍安寺の庭の如き一本の樹木もなく、十五個の石を二ッ寄せ、或は四ッ寄せ、或は五ッ寄せて、そして地面全部に白砂を敷いてあります。これは白砂は海面を現はし、石は海の島を現はして一ッの風景を作つてゐるのであります。かういふ例は皆日本の庭園が想化されたものと言はなければなりません。それから日本の庭園に禁忌、方位剋生が行はれたことも日本庭園の一ッの特色であります。日本の庭園がだん〳〵發達してきた時、密敎や天台宗が這入つて來て、これ等のものから出て來た祈禱や呪ひお拂ひといふやうなものが盛んに行はれまして、それが上流下流を通じて一般に信せられ、又當時の月郷雲客等徒らに形式に流れた風があつた等の關係から迷信が盛んに行はれたものでありますから、それがやはり庭園にも影響してをります。古い庭園の本を見ますると皆さういふことが書いてありまして、近世になつても餘風が遺つて德川時代に出來た庭園にもやはりそれが現れてをります。今この一例を申しますと、山水の立石に家の向きを切るやうな石を忌みたり、面の欠げた石を忌みたり、或は又、東に山水あれば木性の庭なり西に山水あれば金性の庭なり等と言ふことがあります。これ等は全く日本庭園の特色の一ッであります。

それから日本庭園には眞草行といふことが行はれました。これはよく人に聞かれることで、誰がこんなことを言ひ出したかハッキリわかりませんけれども、築山提造篇といふ本を見ますると前篇は約二百年前の享保年間のもので、この前篇には方位とか相剋とふことは書いてありますが眞草行のことは書いてありません。ところがそれから約百年後の文政年間に出來た後篇を見ますると、眞草行のことが圖面を添へて詳しく說明してあります。これによつて大凡何時頃から始つたがといふ大体の見當はつくと思はれます。私はこれは一種の捉らはれた形式であると思ひます。眞と言つても行と言つても實際はその間にハッキリとした區別はないのでありまして、眞の形は書院や寺院方丈等の嚴格な建築に對して幽邃な趣きを現はしたのは眞であります。草の方は蕭洒な建築に對して簡素な印象的な趣きを現はしたのが草であります。行は眞と草との中間のものが行であります。日本には庭園の本が割合に少けないものですからかういふことがあまり一般に知られてをりません。しかしこれは別にハッキリした區別をつけるべきものでなく、全くの初學者のためにさういけ形式を設けたに過ぎないものと思はれます。

次ぎに京都と江戸に於ける歷史的の庭園について少しお話致します。京都には日本庭園の代表的なものを澤山もつてをりまして、何れも藝術的價値の高い庭であります。しかしそれ等の歷史的庭園がすべての時代を現はした、どういふ形式をもつてゐるかと言つても現在ではそれが非常に變化してをりますので、それ〴〵の庭園に對して說明することは難かしいのであります。一体庭を完成するには長い年月を要しまして、一旦完成した庭も長い間にはその價値を失ふといふ欠点があります。庭を作

る人がその理想を完全に現はすには尠くとも十年を要します。それは植物の大きくなるのを待たねばならず、又石苔でも二年三年ではなか〳〵伸びません。それに又他の藝術、繪畫とか彫刻、建築といふやうなものは相當な保護を加へると五百年でも千年でも保存することは出來ますが、庭園はさういふ譯に參りません、どうして保存が出來ないかといふと、庭園は生物を材料としますからそれに成長枯死といふやうなことが伴ひます。それで庭園の壽命は長くても二三百年位で、その間には局部が作者の意匠と變るやうな場合が澤山あります。又地震、火事、洪水、暴風等の天災のため變化することもあります。京都の庭園は斯樣な天災によつて變化してゐることが頗る多いのであります。庭園の中でも一番變化しなのは岩組であつて、樹木が一番變化しやすいことは申す迄もありません。古い京都の庭園は應仁の亂にメチャ〳〵に破壞され、今日存在してゐるものは大抵の應仁の亂以後のものであります。有名な京都の桂離宮の庭園の如き洪水のため桂川が泥濫し岩組迄も破壞されたことがあります。又所有者、保管者の考へによつて變化することがあります。保管者、所有者が作者の意匠を無視して自分の考へを加へ、一部分或は全部變化さしたり、理解のない植木屋によつて變化させられたりすることが尠くありませんから其大部分は變化して居ります。日本の庭園で一番古いものは四百五十年位で、それ以前のものは殆んど殘つてゐません。三百年前位から完全に殘つてゐます。京都の庭園の特長を申しますると材料は植物では椎、樫、モッケイ、椿、躑躅、等が多く用ひられ、その春景には濶葉樹の森が多く使はれてをります。次ぎに岩組が豐富で京都地方には立派な石が澤山ありますか

ら、自然岩を澤山使用してをります。それから白砂と苔を澤山使つてをります。銀閣寺の庭等全く白砂ばかりと言つてゝ位であります。それから水を餘計使つてをります。これは地形が川から水を引くに便利であるからで有ませう岩組の最も多いのは龍安寺、桂離宮、大德寺等の庭は殆んど岩ばかりで出來てゐる位であります。石をもつて島を現はしたものもかなりあります。それから京都の庭園には古い都である關係上歷史的建造物が多く殘つてをります。次ぎに地割に於きましては三通の種類があります。第一は一ヶ所から坐つて眺めるに適するやうに出來た庭であります。第二は金閣寺、銀閣寺の庭に多少池の周りなど步くことが出來るやうに出來てゐるものであります、けれどもこれもやはり第一に近い一方から坐つて眺める庭であります。第三は四方から眺めて方々にある亭などから眺めても何れの塲所からみても一ツのまとまつた景色を現はし、そしてそれから一周して初めて全部の味がわかるやうに出來た庭であります。京都の庭にはこの三通りがあります。それから京都の庭に共通した特色は禪味若くば茶味が現はれてゐることであります。禪宗の人が作つた庭には禪味が現はれ、茶人が作つた庭には茶味が現はれてをります。それからもう一ツ京都の庭園には殆んど全部が春景をもつてゐることであります。京都には近くに美しい山が多いためそれを借景として取り入れ、幽邃な趣きを加へてをります。次ぎに京都の有名な庭を擧げますれば、神泉苑、西芳寺、天龍寺、金閣寺、銀閣寺、等持院、淸水寺、大德寺、大仙院、聚光院、抓蓬庵、三寶院、勸修寺、本願寺の枳殻邸、飛雲閣、桂離宮等でありまして、神泉苑は最も古い地割の殘つてゐる庭で、西芳寺は天龍寺と共に夢窓

國師の作で岩組等迄洪水のため破壞されてゐますがこの庭にある茶室は有名なものであります。等持院には有名な司馬温公の手水鉢があります。清水寺は京都名園の一ッで春景利用の巧みな例であります。龍安寺の庭は相阿彌の作で庭中一面に白砂を敷いてその中に大小の石を十五ほど巧みに配置したものであります。こゝに注意すべきことは塀の向ふに松林を通じて双ヶ岡を春景に巧みに取り入れた点であります。ある成金がこの庭の眞似をしやうとして岩の寸法から配置を正確に測定して、そのまゝ自分の庭に作つてみたさうでありますが、どうしてもこの庭の氣分が現はれないで失望したといふことでありますが、それは自然の春景といふことに氣がつかなかつたのであります。大德寺の庭も春景を巧みに利用したもので、正面に京都富士と言はれる比叡を取り入れ、それに加茂川堤の松並木が加つてをりまして、比叡を富士に松並木を三保に擬してゐることであります、三寶院は豊太閤が金にあかして拵へた庭で名高い名園であります。桂離宮は遠州の作で立派な庭でありまするが、殊に遠州の特長を現はしてゐるのは、その岩組であります。

次ぎに江戸の庭園を簡單に申しますと、江戸の庭園が出來たのは三代家光から十一代家齊に至る間で、文化、文政の文化を春景として多くの名園が出來てをります、江戸は京都に比べると所謂原より出でゝ原に入る武藏野の平原でありますから、京都の山岳の中の盆地に出來た庭と違つて特色をもつてをります。京都と江戸は全じ風景的庭園でありますけれども日本の庭園と西洋の庭園と違ふやうにそこに大きな相違がありまして、平原的な武藏野の地形から生れた江戸の庭園は我國庭園に一大革命

をもたらしたものであります。京都は山が近く、その春景を利用することが出來ましたが、江戸は地面が廣く春景として利用する風景がないために庭園それ自身を別天地として作らねばならぬ結果多く池を中心とした回遊的な構造地割のものになつてゐるのであります。土地が廣いため五萬坪、十萬坪といふ大庭園を作り得たといふのも、その特色の一ッであります。岩組も京都のは石を立てたものが多いのですが、江戸のは横に石を使つたものが多く、これも自然的還境からであらうと思ひます。氣候も京都より江戸は風強く、寒さがはげしいため植物の發育が鈍く、京都は苔を旺んに用ひてをりますが、江戸は濕氣が少ないのと、霜柱がひどいため、苔が育たないのであります。石も京都地方には良い石が澤山出ますが、江戸は石の產地が遠方で多く富士の裾野に出ますクロボクを使つてをります江戸の植木屋はこの溶岩を巧みに使ひますが、それを關西の植木屋に眞似させてうまく出來ないため關西の植木屋は下手だと申しますが、それは下手なのではなくて石になれないためであります。それから京都では白砂をよく使ひますが、江戸では白砂が手に入らないのと土がボコボコしてゐるので白砂が使へません。江戸の庭園は文化、文政の文化が渾成された時に多くの名園が作られてをりましてかの小堀遠州が有名な後樂園を造つたのもその頃であります。それから江戸の庭園には德川幕府が漢學を奬勵したため支那趣味が移入した結果、庭園にもそれが影響してをります。後樂園はこの支那趣味の移入を代表したもので明の朱舜水がその設計に參與したといふことであります。それからもう一ッ德川時代には武士と町人の階級がハツキリと嚴格に分れてをりましたので庭園にも大名の庭園と町

露光量違いの為重複撮影

人の庭園とが出來て、下町には頗る平民的な庭園が發達したといふことは興味あることであります。

これ等が江戸庭園の特長であります。

これから幻燈について少しお話申上げます。

◇　◇　◇

（終り）

283
84

大正拾五年參月貳拾九日納本
大正拾五年參月貳拾九日發行　（非賣品）

發行人
印刷人
編輯人　大阪市住吉區阿部野町一四四番地
伊澤廣明

印刷所　大阪市北區小深町四三番地
ナガ井國華堂

發行所　大阪市南區問屋町三十九番地
講演文學會
電話大阪南三二七一番

東京市麻布區箪笥町五十八番地
講演文學會東京事務所

露光量違いの為重複撮影

人の庭園とが出來て、下町には頗る平民的な庭園が發達したといふことは興味あることであります。
これ等が江戸庭園の特長であります。

これから幻燈について少しお話申上げます。

◇　◇　◇

（終り）

283
84

大正拾五年參月貳拾九日納本
大正拾五年參月貳拾九日發行　（非賣品）

發行人　大阪市住吉區阿部野町一四四番地
印刷人
編輯人　伊澤廣明

印刷所　大阪市北區小深町四三番地
ナガ井國華堂

發行所　大阪市南區問屋町三十九番地
講演文學會
電話大阪南三三七一番

東京市麻布區簞笥町五十八番地
講演文學會東京事務所

終